

Sunフロア 防滑骨材A

床用防滑仕上げ用骨材

- 規格表示 —
- 系 統 特殊軽量材を主体とした床用防滑骨材
- 特 長 ・塗料に混合しても沈殿しにくく、そのままローラーはけ塗装が可能です。
 ・ムラの少ないきれいな防滑仕上がりが可能です。
 ・お手軽な使いきりサイズです。

性状

色		白色				
密度(g/cm ³)(23℃)		0.5< かさ密度				
光沢		—				
引火点		—				
発火点		—				
消防法表示	化学名	—				
	危険物区分	—				
	危険物等級	—				
有機溶剤区分		—				
毒劇物表示		—				
有害物表示		—				
ホルムアルデヒド 拡散等級	登録番号	—				
	区分表示	—				
国連/指針番号		—				
環境性能	クロロピリホス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラヒカン	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアジノン	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノカルブ	配合せず	鉛	配合せず		
TVOC		—				

* 塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

塗装基準

荷 姿 :0.25kg

使用 方法 :クリンカラーシリーズ(Aベストつや有り・つや消し、Eベスト、Uベスト、UFアイン、Wベストつや有り・つや消し、Wハードトップ)および
 Sunフロアシリーズ(A・Aつや消し、E、U、UF、W・Wつや消し、WH)、1缶(13.5~16kg)に対して1本(0.25kg)の骨材を混合してご使用ください。

希 釈 剤 :上記クリンカラー、Sunフロアシリーズの希釈剤をご参照ください。

塗 装 方 法 :上記クリンカラー、Sunフロアシリーズの塗装方法をご参照ください。

乾 燥 時 間 :上記クリンカラー、Sunフロアシリーズの乾燥時間をご参照ください。

□ 注意事項

- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用はく離剤などで除去し、水洗いを十分行い十分乾燥後、塗装してください。
- ・施工後、車輛のタイヤ、ゴム長靴やコード類など可塑性を含むものを置くと軟化し粘着性が生じますので、置かないでください。
- ・厚く塗り過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。
- ・旧塗膜が何回も塗り重ねられて積層されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合は、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生する恐れがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
- ・軽歩行は塗装翌日から可能ですが(23℃)、車輛の走行は塗装後72時間が経過した後にしてください。早期の使用は、塗膜が剥がれたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。
- ・アスファルト面への塗装は、割れが発生しますので、避けてください。
- ・旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ポリシャー・サンダーで表面を目粗してください。
- ・下地が強化コンクリートや着色コンクリートの場合は、付着性向上のため研削機を用いて、下地表面を物理的に目粗してください。
- ・常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行なってください。
- ・常時水がかかる可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、クリンカラーEレジモルクリヤー(新)を使用した塗装仕様で塗装してください。
- ・下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- ・下地コンクリート表面のレイタンス、エフロレッセンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜に剥がれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行なってください。
- ・塗り替え時で、旧塗膜が弾性の場合には使用しないでください。
- ・旧塗膜の種類が不明の場合には、必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- ・シンダーコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2~3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- ・塗料の中に珪砂を混合して防滑仕上げる場合は珪砂は沈殿し易いので、かき混ぜながら塗装してください。
- ・塗装後24時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- ・色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ・反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害を起こす恐れがあります。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどを除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行なってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行なってください。
- ・塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ・汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットを必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ・ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落とししてください。
- ・使用前に内容物が均一になるように攪拌し、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密封してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。